



第18回川崎国際環境技術展の来場者を募集します！ 【同時開催】川崎国際エコビジネスフォーラムを開催します！

入場無料！

川崎市は、脱炭素社会の実現と持続可能な経済成長の両立を目指し、出展者の優れた環境技術や先進的な取組を広く情報発信するとともに、参加者の販路開拓や拡大につながるビジネスマッチングの創出の場として、令和7年11月12日、13日の2日間、カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）で、「第18回川崎国際環境技術展」を開催します。

今年は、「**サーキュラーエコノミーが創造するビジネスの可能性**」をテーマに、**120の企業・団体によるブース出展**のほか、**基調講演や特別講演、川崎市市制100周年を継承した特別企画など、多数のイベントを実施**します。また、同日、川崎国際エコビジネスフォーラムを開催します。

例年、多くの企業関係者が来場し、出展者との商談が成立する、川崎市を代表するビジネスマッチングイベントです。

1 開催概要

- (1) 会期 : 令和7年11月12日(水)・13日(木) 10:00~17:00
- (2) 場所 : カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）
- (3) 入場 : 無料
- (4) 出展団体 : 120企業・団体

※御来場の際は、公式ホームページから事前に来場者登録をお願いいたします。

<https://www.kawasaki-eco-tech.jp/>



2 ブース出展

出展エリアには120の企業・団体がブース出展を行います。

会場では、ビジネスマッチングに役立つ企画として、出展企業・団体の技術やサービスを紹介する出展者ピッチを実施するほか、マッチングシステムも利用いただけます。

また、出展企業や団体との面談ができるマッチングブースを用意します。



3 基調講演（メインステージ）

- (1) テーマ : サーキュラーエコノミーの具現化に向けた CLOMA の活動
～官民連携でプラスチック資源循環に挑む～
- (2) 登壇 : ^{さわだ} ^{みちたか} 澤田 道隆 氏
クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）会長
花王株式会社 特別顧問
- (3) 日時 : 11月12日（水）10:20～11:20



4 特別講演（メインステージ）

- (1) テーマ : すべての産業がバイオ化する！
4,500兆円市場で勝ち抜くため事業戦略とは
- (2) 登壇 : ^{ふじた} ^{ともひろ} 藤田 朋宏 氏
ちとせグループ Founder&Chief Executive Officer
- (3) 日時 : 11月12日（水）13:00～14:00



5 特別セッション 川崎から始まる持続可能な未来 ～共創が生み出す無限の可能性～ (メインステージ)

今回の特別企画として、市内企業によるビジネスマッチングの好事例を紹介し、各企業の担当者が、ビジネスマッチングに至った経緯や、創出された事業などを語ります。

・CASE 1

割り箸×スポーツの力で広げる、サステナブルムーブメント

ChopValue Manufacturing Japan 株式会社 × 株式会社川崎フロンターレ

サッカーの試合会場で提供されるフード。その割り箸を回収して、高品質なオフィス家具や壁材へとアップサイクルするプロジェクトが行われています。みんなの心が一つになるスポーツ観戦を通じて、循環型社会のムーブメントを一気に広げる取組を紹介します。

・CASE 2

「さよなら 丸の内 T0EI」クラウドファンディング企画を通じたアップサイクルの取組

株式会社 SKLO × 東映株式会社

開業から約 65 年、惜しまれつつ今夏閉館した映画館「丸の内 T0EI」。その思い出をいつまでも残せるよう、スクリーンや緞帳などをアップサイクルで生まれ変わらせます。『思い出を未来に繋げる』ための取組を紹介します。

・CASE 3

官民連携による再生電力の地産地消に向けて

川崎未来エナジー株式会社 × ヤマト運輸株式会社

「川崎産グリーン電力」を活用して全ての消費電力を再生可能エネルギーでまかなう市内宅急便営業所の取組と、今後の展開を紹介します。

・CASE 4

建築資材ロスの可視化とリユースによる都市型循環モデルの実証

株式会社光洲産業 × HUB&STOCK 株式会社

新品未使用で廃棄される建築資材ロスの市内での現状を調査し、可視化を目指します。また、リユースによる都市型循環モデルの実証を紹介します。

6 特別企画CYCLE (大会議室)

昨年度実施し、好評だった市制 100 周年記念企画『若者』と『協業』の特別企画を継続して実施します。学生のサーキュラーエコノミー※に関するアイデアをきっかけとした、ホスト企業と出展者及び来場者のビジネスマッチングを目指す新規事業創出プログラム企画です。ホスト企業の事業ニーズに対し、大学生などがアイデアを立案します。

【ホスト企業】：株式会社川崎フロンターレ、株式会社 JEPLAN、TOPPAN 株式会社、
フクビ化学工業株式会社、ワタミ株式会社

※サーキュラーエコノミーとは、循環型経済という意味で、企業が取り組むことで、資源を無駄なく活用し、環境と企業利益を両立させ、持続可能な成長と競争力を高める経営戦略とすることができます。

●国際環境技術展

川崎市では、脱炭素社会の実現と持続可能な経済成長の両立を目指し、参加者の皆様の新事業展開や販路開拓等につながるビジネスマッチングを創出する場として、「川崎国際環境技術展」を、平成 21 年より毎年開催しています。

一貫したフォローアップ体制やマッチングを生み出すツールの提供、充実した



企画やイベントの実施により、質の高いビジネスマッチング等、様々な成果を生み出しています。

昨年実施した第17回では、ビジネスマッチング数805件、商談成立数は91件に上り、出展者向けのアンケートによると、およそ80%の出展者が「とても満足」「満足」と回答しています。

昨年度の出展者数は123企業・団体、うち市内の中小企業は53企業・団体、初出展は41企業・団体、2日間の来場者数は合計5,050名（前年度比+10%）でした。

※昨年度の開催実績報告書は下記からご覧いただけます。

https://www.kawasaki-eco-tech.jp/common/data/implementation_report2024.pdf

●【同時開催】第22回川崎国際エコビジネスフォーラム

川崎国際環境技術展と同会場の「カルッツかわさき」では、川崎の優れた環境技術や国内外の先進的な環境施策や取組についての情報交換や発信を目的に、「川崎国際エコビジネスフォーラム」を開催します。

今回は、「都市と産業の共生に向けて ～世界が直面する気候変動にどう立ち向かうか～」をテーマにパネルディスカッションを行います。

1 開催概要

- (1) 日 時 令和7年11月12日（水）10:10～12:10
- (2) 場 所 カルッツかわさき1階大会議室
- (3) 定 員 100名（入場無料、先着順）
- (4) 申込期間 9月22日（月）～11月11日（火）

2 主な内容

(1) 第1部 特別講演

登壇者：^{すえよし}末吉 ^{たけじろう}竹二郎 氏 川崎市国際環境施策参与

^{ふじた}藤田 ^{つよし}壮 氏 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授

(2) 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター ^{よしだ}吉田 ^{てつろう}哲郎 氏

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）都市タスクフォース主任研究員
国内外のパネリストが登壇して、発表・ディスカッションを行います。

※川崎国際エコビジネスフォーラムに参加をご希望の方は

こちらからお申し込みください。

<https://logoform.jp/form/FUQz/1202571>



問合せ先

（川崎国際環境技術展に関すること）

川崎市経済労働局イノベーション推進部 児島

電話 044-200-3213

（エコビジネスフォーラムに関すること）

川崎市環境局環境総合研究所 鈴木

電話 044-276-9001